

# ニホンジカ移動ルートへの制御と 簡易な捕獲技術の改良

ニホンジカによる広範囲の農林業被害を軽減・防止するためには、森林所有者や林業事業者が狩猟者に協力して捕獲を進めることが必要です。深刻な被害が想定される造林地において罠の作成までを造林者側が行うことで狩猟者は捕獲に集中することができます。

当森林研究室では、開発したゲート(図1)とシカ柵を組み合わせた簡易で経済的な「囲い罠」(図2)を作成し、捕獲状況及び罠の耐久性・構造上の弱点を把握するため捕獲試験を行っています。

※小課題「移動ルートの制御」については、令和6年度に試験を終了しています。

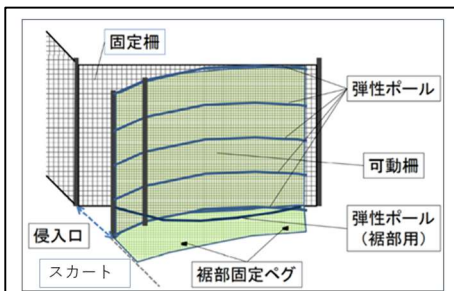
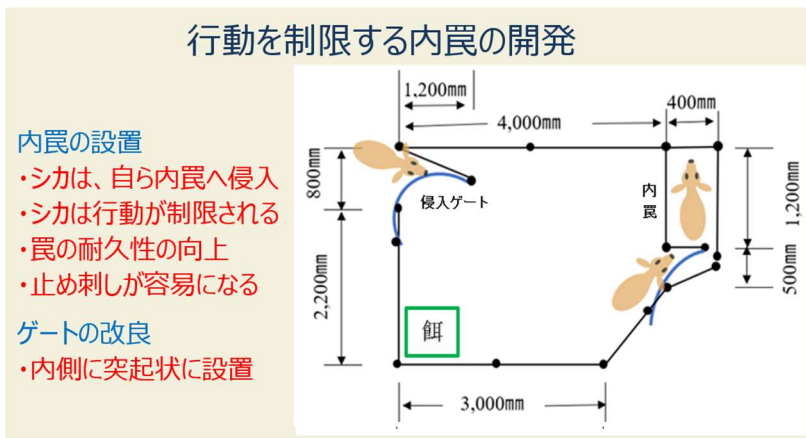


図1 スリット式・ワンウェイゲート

図2 内罠に入ったニホンジカ